A区分・B区分・C区分共通
No.1(実演芸術)

# 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業　出演希望調書(実演芸術)」

**分野、種目**（該当する分野、種目を選択してください。）

| 分野 | 演劇 | 種目 | 演劇 |
|---|---|---|---|

**申請区分**（申請する区分を選択してください。）

| 申請区分 | A区分とB区分の両方 |
|---|---|

**複数申請の状況**（該当するものを選択してください。）　※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| 複数申請の有無 | 有 | 申請総企画数 | 2企画 |
|---|---|---|---|

**複数の企画が採択された場合の実施体制**（該当するものを選択してください。）
※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能 |
|---|---|

## 芸術文化団体の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな<br>制作団体名 | えんげきしゅうだんわんだーらんど<br>一般社団法人演劇集団ワンダーランド | 団体ウェブサイトURL<br>http://office-wonderland.com/ | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事　竹内一郎 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 160-0023 | 最寄り駅(バス停) | JR中央線新宿駅 |
| | 東京都新宿区西新宿七丁目18番13号ハイム大成ビル203 | | |
| 電話番号 | 03-3368-2481 | | |
| ふりがな<br>公演団体名 | えんげきしゅうだんわんだーらんど<br>一般社団法人演劇集団ワンダーランド | 団体ウェブサイトURL<br>http://office-wonderland.com/ | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事　竹内一郎 | | |
| 公演団体所在地 | 〒 制作団体に同じ | 最寄り駅(バス停) | 制作団体に同じ |
| | 制作団体に同じ | | |
| 制作団体　設立年月 | 2015年7月 | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表理事　竹内一郎<br>理事　濱田和美<br>理事　松村穣<br>監査役　萩原修三 | 1)団体構成員<br>役員3名　監査役1名　個人20名<br>2)主な構成員　作・演出　竹内一郎<br>事務　濱田和美、俳優　松村穣、岡本高英 | |
| 事務体制<br>(専任担当者の有無) | 専任の事務担当者を置く | 本事業担当者名 | 松村穣/濱田和美 |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無 | 有 | 経理責任者名 | 濱田和美 |

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">【一般社団法人演劇集団ワンダーランド】<br>・1991年1月　早稲田小劇場や「転移・21」の創立メンバーを経た竹内一郎が、本団体の前身の(有)オフィスワンダーランドを創立。以降、50作品以上を上演。この間、文化芸術振興費補助金、芸術文化振興基金補助金事業に採択されている。近年1回以上の主催公演を上演。主宰・竹内一 郎の活動は、筆名「さいふうめい」での戯曲「星に願いを」で文化庁・舞台芸術創作奨励賞作。2017年 以降文科省検定教科書『高校国語表現』にも採用された非言語コミュニケーションの大切さを説いたミリオンセラー「人は見た目が9割」の著者である。平成24年度より巡演している文化芸術による子供育成総合事業で劇団俳小「トキワ荘の夏」公演では、作・演出を担当し主体的に関わった実績もある。<br>・2015年7月　(有)オフィスワンダーランドの演劇活動を、(一社)演劇集団ワンダーランドとして立ち上げ、学校公演活動はこちらを主として活動開始。<br>・2017年、2019年、2020年、2021年　文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－(現在の事業名)で45校巡演。<br>・2022年7月　文化庁統括団体によるアートキャラバン事業「沖縄の火種」公演を上演。<br>・2022年10月　文化庁子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業「からくり儀右衛門」公演上演予定。</td></tr>
<tr><td>学校等における<br>公演実績</td><td colspan="3">2011年より学校公演実績経験あり　累計　約50校<br><br>2011年度 「からくり儀右衛門」「からくり儀右衛門」上演実行委員会主催公演(久留米市)<br>2012年度 「からくり儀右衛門」 久留米市筑豊西中学校芸術鑑賞教室公演<br>「からくり儀右衛門」 九州大谷短期大学公演<br>2013年度 「からくり儀右衛門」 久留米市立南薫小学校「からくり儀右衛門を観る会」主催公演<br>「からくり儀右衛門」「からくり儀右衛門展実行委員会」主催公演<br>(上記制作:有限会社オフィスワンダーランド)<br>2016年度 「沖縄の火種-戦果アギヤーの1947年-」 学校法人桐蔭学園芸術鑑賞教室公演<br>2017年度 「熊楠と孫文-熊楠が孫文に伝えた世界-」 和歌山市主催公演<br>2022年度 「からくり儀右衛門」 都立定時制通信課程芸術鑑賞教室上演予定(2023年1月)<br>(上記制作:一般社団法人演劇集団ワンダーランド)</td></tr>
<tr><td>特別支援学校等における公演実績</td><td colspan="3">特別支援学校の単独公演の実績はありませんが、基本的にワークショップも本番もできます。<br>これまで、特別支援学級の児童生徒も一緒に観ていただいています。聴覚障害のある生徒には、事前に台本を郵送し、先生方の協力も得て、先にお話が分かるよう配慮していただきました。<br>先生方と話し合いを持ち、より詳細に設定したいと考えています。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">参考資料の有無</td><td>申請する演目のWEB公開資料</td><td colspan="2">有</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合URL</td><td colspan="2">https://youtu.be/BOrMk6UXuh0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td><td>ID:</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>PW:</td><td>なし</td></tr>
</table>

公演・ワークショップの内容　　【公演団体名　一般社団法人演劇集団ワンダーランド　】

| | | |
|---|---|---|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ |
| | 小学生(中学年) | ○ |
| | 小学生(高学年) | ○ |
| | 中学生 | ○ |

| | |
|---|---|
| 企画名 | 現代演劇に参加する喜び 「からくり儀右衛門」 |
| 本公演演目<br>原作/作曲<br>脚本<br>演出/振付 | **からくり儀右衛門ー日本のエジソン・技術で明治維新を創った人々ー**<br>作・演出:竹内一郎　作曲:西村勝行　振付:福島桂子<br>【プログラム構成】<br>1　仕込み<br>2　ワークショップ復習・リハーサル<br>3　「からくり儀右衛門」前編上演・鑑賞<br>(休憩10分)<br>4 「からくり儀右衛門」後編上演・鑑賞<br>5 感想発表<br>※コロナの感染状況に応じて、希望があれば、搬入のお手伝いを通して役者・スタッフとの交流をはかります。<br>公演時間　100　分休憩有 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 著作権、上演権利等の許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当あり | 該当コンテンツ名 | 劇中の曲 |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名　作曲：西村勝行 | 許諾確認状況 | 使用(上演)許諾取付済 |

| | |
|---|---|
| 演目概要 | 江戸末期、田中儀右衛門は、地元・久留米で「からくり師」として注目を集めていました。**久留米がすりの創始者・井上伝の求めに応じ**、模様を折り込む技法を開発し、**地元産業の発展に貢献します。**発明の面白さに魅了された儀右衛門は、大塩と出会い〈発明〉に開眼します。佐賀藩、久留米藩の求めに応じ、蒸気機関、アームストロング砲などの開発に携わり、**技術で明治維新に貢献します**。その後も万年時計などを発明し現在の東芝の基礎を作ります。 資源のない国を、技術の力で日本の未来を切り開こうとした**東洋のエジソンの異名を持つ「田中久重」**の評伝劇です。作品は実話をもとにしたフィクションです。 |
| 演目選択理由 | **資源のない国・日本の発展には、技術が必須**でした。本作品の主人公のからくり儀右衛門は技術で明治維新を牽引した人物です。発明の精神の根源は**「想像力・創造する喜び」であり、それに加え何事も不可能はない諦めない精神をもつこと**で、**日本は先進国の仲間入り**をしました。子供たちの未来を切り開くために必要な**「探求心、発想力、行動力」の大切さ**を伝えます。 また、登場人物の一人ひとりに夢があり、悩みがあり、友情があり、挫折があります。**「他人と強調して思いやる心」「感動するこころ」「悲しみを分かち合える心」「豊かな人間性」**など、人と人との信頼関係を築く「生きる力」を育む作品です。 |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | 事前のワークショップを経て、身体や台詞、動き、声などを駆使して、**影絵、台詞、歌**で、劇に参加していただきます。<br>儀右衛門達のからくり人形がどんな素晴らしいものか披露する場面で、**影絵のからくり人形**を演じていただきます。**言葉を使わず身体で影絵を通して、光と影が織りなす表現の豊かさ**を想像しながら演じます。<br>儀右衛門に発明を依頼する客を演じます。**言葉を相手にちゃんと伝えること**、台詞以外にも身体、表情、動きを使い、**どうすれば相手の心を動かせるか**を探り、作品を自分の力で面白くする楽しさを知ってもらいます、<br>フィナーレの歌・踊りでは、観客の全員とで歌い、**体育館全体で1つの世界を作る事を目標**にし、呼吸を合わせて歌い振りをつけ、舞台上と観客の双方のコミュニケーションで、**一体感の喜び**を感じてもらいます。 |
| 出演者 | 松村穣　岡本高英　武末志朗　笠倉祥文　霍本晋規　馬場太史　藤井亮輔　佐藤勇輝　江田かよ　丸山彩果<br>榊原あみ　下地きく乃　上條有紀　渋谷結香<br>※上記俳優は予定です。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本公演<br>従事予定者数<br>(1公演あたり)<br>※ドライバー等訪問する業者人数含む | 出演者:　14　名<br>スタッフ:　7　名<br>合　計:　21　名 | 運搬 | 積載量:　2　t<br>車　長:　6.48　m<br>台　数:　1　台 |

| 本公演<br>会場設営の所要時間<br>(タイムスケジュール)<br>の目安 | 前日仕込み | 無 | 前日仕込み所要時間 | － | 時間程度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 到着 | 仕込み | 上演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 8時 | 8時～11時 | 13時30分<br>～15時20分 | 10分 | 15時25分<br>～17時30分 | 17時30分 |
| | ※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。 | | | | | |

| 本公演<br>実施可能日数目安<br>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません) | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 0日 | 0日 | 0日 | 0日 | 21日 |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | 27日 |
| | 6日 | 0日 | 0日 | | |
| | ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 | | | | |

| 児童・生徒の<br>参加可能人数 | 本公演 | 共演人数目安 | 6名程度 |
|---|---|---|---|
| | | 鑑賞人数目安 | 500名程度(相談可) |

**公演に係るビジュアルイメージ**
**(舞台の規模や演出やがわかる写真)**

**※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。**

体育館舞台上に設置した状態です。舞台設置に必要な面積　約9m×5.4m(相談可)。

A区分・B区分・C区分共通

No.3(実演芸術)

【公演団体名　一般社団法人演劇集団ワンダーランド　】

| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 500名程度 |
|---|---|---|---|
| ワークショップ<br>実施形態及び内容 | 標準　小学校90分　中学校100分<br><br>①解説（10分）全校対象<br>　主人公「からくり儀右衛門」の人物像を映像を使い、どのようにして夢を達成したのかなど、解説します。<br><br>②歌と振付（35分～40分）全校対象<br>　本番のフィナーレ作りに取り組みます。歌と歌詞に合わせた振付の練習をします。フィナーレは、舞台側、観客側全員で、手を振ってもらい**一体感を伝える工夫**をします。<br>（休憩）<br>③自己紹介（5分）6名程度<br>　希望の役を**主体的に**相談しながら決めていきます。舞台に立ち、名前と役名を発表してもらいます。下より上を向いたほうがいいよ、声を遠くの人に言うつもりで発声すると大きくなりますよなどアドバイスします。**言葉と気持ちがちゃんと相手に届けられるか**自分で気づいてもらいます。<br><br>④影絵（15分）3名程度<br>　儀右衛門が作ったからくり人形を披露する場面で、影絵のからくり人形を演じてもらいます。**言葉ではなく、身体で、しかも影絵でコミュニケーション**することを学びます。光と影の仕組みを想像しながら、光が近づくと大きくなり、離れると小さくなるなど、自分で発見してもらいます。指導者が初め3体の絵を見せ、再現できるかを演じてもらい、影でどうやって感情表現するかアイデアをいくつも出してもらい、誘導しながら自分で答えを見つけてもらいます。最後は3人で喜ぶ場面で、全員で一緒に喜ぶ姿を観せられないかなと、協働で1つの表現をする課題も与えます。**創造力を養うワークショップです。**<br><br>⑤台詞（15分）3名程度<br>　**言葉を相手にきちんと伝える**こと。さらに、身体、表情、動きをなどを使い**非言語コミュニケーション**を加えることで伝達力が向上することを実感してもらいます。台詞を発するときや登場するときに様々な方法があることも、自分で気づき体感します。<br><br>⑥歌と振付（10分～15分）6名程度<br>　全体練習からさらに深めて、どのように気持ちを表現し歌うかチャレンジしてもらいます。登場する時は、からくり人形の振付で登場します。関節が動きにくいからくり人形を表現するために各自で工夫をしてもらいます。**客席を感じ体育館全体で一つの世界を作るのを目標にしましょう**と伝えます。 | | |
| ワークショップの<br>ねらい | 　ワークショップで最も大事なことは**「見る」「聞く」「感じる」**、つまり五感を鋭くする訓練によって、**想像力、創造力、感受性**を豊かにし、**コミュニケーション能力を発達させ、社会性が身につくようにすること**です。そのために、身体や声、表情などを駆使して伝えることの大切さを、**主体的に発見する**ということを実践します。客席にいる生徒が舞台上の動きをみてリアクションをすることにより演じた生徒、客席にいる生徒双方のコミュニケーションを図ります。体育館全体の一体感が生まれることの喜びを感じてもらい、**芸術鑑賞能力の向上と作品を自分で面白くする楽しさ**を知ってもらいます。<br><br>●**解説**　主人公がどんな人物か前もって知ることにより、本番の日に楽しく観劇できるようになります。<br>●**歌と振付**　舞台に上がっている児童生徒と、客席にいる児童生徒の呼吸を合わせることでコミュニケーションが取れ一体感が生まれる喜びを知ります。メロディを持った音声の伝達力の高さにも気づきます。<br>●**影絵**　光と影が織りなす表現の豊かさに気づき、自分の動きが影となったときの想像に思いを至らせる訓練をします。**非言語コミュニケーション**で気持ちを伝えるための工夫を発見します。<br>●**台詞**　演技することの狙いは、相手の心を動かす喜びを知ってもらうことです。 | | |
| その他ワークショップに<br>関する特記事項等 | ※「ワークショップ実施形態及び内容」に記載してある④⑤⑥は、それぞれに当日までの課題をだし、本番のリハーサルで改善したものを発表してもらいます。**問題解決型の学習**をする狙いがあります。子供たちだけで協働して、改善していき課題を克服することは、創造的能力と社会性の向上が得られます。 | | |